

花乃井だより

学校
通信

令和4年12月21日(水)

第 113 号

大阪市立花乃井中学校

3年生進路懇談、1・2年生保護者懇談

先週は3年生の進路懇談、今週は1・2年生の学期末の保護者懇談が実施されています。3年生は私学の進路先を中心に、具体的に受験校等を決定してきました。1・2年生の皆さんには2学期の成績等を見ながら、学校での生活やご家庭での様子もお聞きし、様々なお話ができればと思っています。ただ、とにかく短時間の懇談でお話の内容は限られてくると思います。この機会に話し足りなかったことについては、いつでも結構ですので学校の方にご連絡をお願いします。



ところで、早いもので今年も残すところ後10日となりました。皆さん年度当初に立てた目標は達成できましたか？というより、まずは覚えていますか？（というか立てましたか？）目標を立て、達成から逆算して計画をしっかりと練って、達成に向けて粘り強くやり抜くということは、いつの時もとても重要なことです。どんなことがあってもあきらめずに頑張りぬくこと。これはなかなか難しいこともあります。

皆さんは「マグロは泳ぎ続けないと死んでしまう。」ということを聞いたことがありますか？魚は人間の肺呼吸と違ってエラ呼吸をしています。口とエラを動かすことによって水に溶けた酸素をエラから取入れているわけです。長距離を泳ぎ回らない魚なら特に問題はないのかもしれません、マグロ等の回遊魚は外洋を延々と泳ぎ回らないといけません。しかも大型の魚なので大量の酸素が必要となります。だからマグロの場合、エラを動かすのではなく、口を開けて泳ぐことで自然とエラに水流が当たり、新鮮な酸素を取込むような体の仕組みになっているのです。したがって、泳ぎを止めてしまうと酸素を取込めなくなり、最悪の場合は窒息死してしまうそうです。ただ、いつも同じ速度で泳いでいるかというとそうではなく、ゆっくり泳いで休んでいるときもあります。それでも気の毒なことに、24時間泳ぎ続けなければならないのです。とても大変なことだと思います。実はマグロのように、世の中にはとても苦労して生きている動物がたくさんいるのです。

しかしここで、一つ皆さんに考えてほしいことがあります。それは「確かにマグロは大変かもしれない。しかし、体の構造上そうなってしまった（進化の過程でそれが一番適応してきた結果）ことですので、自らの意思で泳ぎ続けることを選んだわけではない。」ということです。しかし、私たちはマグロと違って、一つ一つの行動を、その時々で自分で

選択し、決めたことを自分の意志でやり遂げていかなければなりません。将来のために今は何をするべきなのか、自分のために、人のためにどんな行動をとるべきなのか……等々。様々なことに悩みながら決定し、しんどくても頑張ってやっていかなければならないのです。だからこそ、目的を達成したときの感激は素晴らしいものがあります。そして、その成功体験こそが、その後の人生にあって困難に直面した時の自分自身を支える大きな核となります。「行き詰ったら原点に戻れ」という言葉がありますが、この“原点”を一つでも多く持っている人は強いのです。

先述に戻って、今年の目標の話。今年1年を振り返って、できていなかったことがあったら、後10日の間で少しでもやり切っていきましょう。

地域防災訓練の実施

今月の3日(土)、本校が避難所となる時を想定しての江戸堀地域の防災訓練が実施されました。昨年と同じく大阪市危機管理室や西区役所・



西消防署・西警察署・大阪府西大阪治水事務所・西区社会福祉協議会の協力があって、消防車も出動しての充実したものとなりました。午前9時に震度7の直下型大地震が発生したという想定で、住民の皆さんのが本校の運動場へ避難してきました。近隣への安否知らせ訓練（江戸堀方式安否確認）もお互いに確認し合ってきました。運動場では家具の下敷きになった人を救助する訓練や心肺蘇生法の実践などが行われ、体育館では津波の恐ろしさを映像で解説していました。また、仮設トイレや非常用の公衆電話も特設されました。



《救急救命心肺蘇生法を体験》



《災害非常用の特設公衆電話》



④ 《災害対策本部》

この日は旧職員室が江戸堀連合町会の災害対策本部と避難所運営委員会の本部になりました。様々な情報が集まり、総括的に各部署へ指示・通信を流す訓練を行いました。



《津波の恐ろしさについて解説》